

中頭指導行政の基本方針 重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造 ~地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり~

育成をめざす資質・能力
○実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

- 国・県の施策
○学習指導要領小・中学校解説(文部科学省)
○新・沖縄県21世紀ビジョン基本計画(沖縄県)R4.5.15
○沖縄県教育振興基本計画R4~13
○学校教育における指導の努力点(R5~R9年度版)
○沖縄県キャリア教育の基本方針R2
○沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ(R2~6)
○「問い」が生まれる授業サポートガイド(沖縄県教育委員会)
○「キャリア教育」資料集 研究・報告書・手引き編(国立教育政策研究所)
○沖縄県学力向上推進本部会議からの提言

- 家庭の取組
○規則正しい生活リズムの確立
○スマホ等の利用ルールづくり
○家庭学習の習慣化
○ファミリー読書の推進

- 沖縄県教育委員会「重点事項」取組
取組1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化
取組2 「自学自習力」を育む取組の充実
取組3 「学習基盤としてのICT」による児童生徒の学びに主体性をはぐ組む取組の充実
取組4 自校の「目指す児童生徒像」実現に向けた校内研修の充実
取組5 「指導と評価の一体化」実現のためのPDCAサイクルの確立

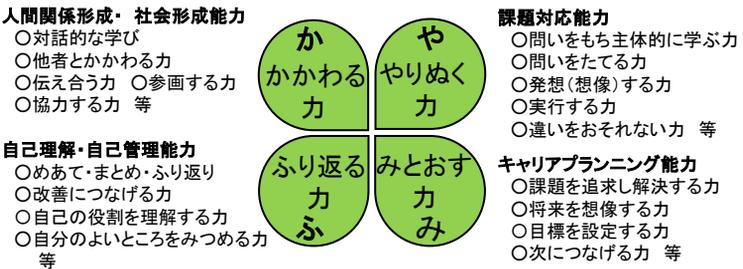
重点事項 「わったーわらび」の学力保障と成長保障

長期目標：持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成
総括目標：幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

- 基本方針
1 児童生徒一人一人のキャリア発達を踏まえた支援を行う。
2 自主的、自発的な学習の促進(自立心・自律性の育成)を図る。
3 社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力の焦点化と育成に務める。
4 キャリア教育の視点を踏まえた授業実践と振り返りを行う。

- 取組事項
1 特別活動を要としながら、各教科・各科目の特質に応じてキャリア教育の充実を図る。
2 身につけさせたい「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力の視点をふまえた、全体計画及び各教科等の年間学習指導計画を作成し実践する。
3 自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、ふり返ったりできるように、学びのプロセスを記述し自己評価を行う「キャリア・パスポート」等を活用し小中高12年間の学びの履歴をつなぐ。
4 日々の学習活動と社会とを関連付けた職場における体験活動の充実を図る。
5 生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる力の育成を目指した計画的、継続的な進路指導の充実を図る。

学校の取組 発達段階や実態に応じた基礎的・汎用的能力の育成!!



- 令和5年度の状況
1. 「キャリア・パスポート」の取組状況
・キャリアパスポートを活用した授業小(83%)中(72%)
・三者面談等での活用小(42%)中(62%)
2. 成果と課題
○キャリアパスポートに計画的に取り組む学校の増加。
○キャリアノート(スケジュール管理)等で主体的、計画的に講話の浸透。
○職場体験活動や職業人講話など、多様な活動の実施。
●キャリア教育の視点を活かした実践の推進。
●キャリアパスポートの効果的な活用(場面、方法などの工夫)
●教職員のキャリア教育に関する研修の工夫充実

- 地域の取組
○青少年健全育成の日奨励
○放課後子ども教室推進事業
○地域学校協働活動推進事業
○CGG運動
○体験学習等への連携・協力

- 学校の活性化に効果の期待できる取組
1 校長講話(めざす姿の共有)
2 指導案作成と授業実践
3 授業を補完する補習の時間
4 五者会等へ学校事務職員が参加
5 学校評価の分析・活用
6 校長による授業参観と助言
7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
8 校内教育支援委員会の充実

「重点取組：キャリア教育の視点を踏まえた教育課程編成と授業改善」

	視点1 自己肯定感の高まり	視点2 学び・育ちの実感	視点3 組織的な関わり
方策1 日常化する【質的授業改善】	○学ぶこと・働くことの意義の理解 ○児童生徒が主体的に学ぶ授業への転換	○振り返りの確実な実施 ○評価を授業改善につなげる	○一人一人が担当する教育活動の中で実践
方策2 そろえる【組織的共通実践】	○全体計画の作成 ○実態や課題に応じた目標(目指す能力)の設定	○全体の共通確認	
方策3 支える【発達の支援】	○現状の把握・課題の明確化(日常的なチェック)	○教職員の指導力向上 ○職員研修の充実	
方策4 見通す【学校組織マネジメント】	○キャリア教育の視点を踏まえた教育課程の編成	○年間指導計画の作成 ○キャリア教育の視点を生かした計画的・継続的な進路指導	
方策5 つなぐ【学校連携・地域連携】	○現在の学びと生涯にわたる学習とのつながりを見通す「キャリア・パスポート」の活用	○地域と協力・協働した職場体験活動の実施 ○学校・家庭・関係機関等との連携の強化	○将来について、親子で話題づくりができる進路情報・進路資料等の提供

(1)実態の把握→(2)課題の明確化(基礎的・汎用的能力)→(3)キャリア教育の目標設定→(4)社会的・職業的自立に向け、目の前の子供たちにとって必要な基盤となる資質・能力の明確化

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進 - 社会に開かれた教育課程の実現 -



2020年代を通じて実現を目指す学校教育 育成を目指す資質・能力 自立・協働・創造 (自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造)

新たな時代における学びの姿 個別最適な学び ↔ 協働的な学び 一体的な充実

中頭指導行政基本方針 重点事項 (検討中) 中頭型ウェルビーイングを目指して 「わったーわらび」の学力保障と成長保障 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 キーワード:「じりっ」「きょうどう」「そうぞう」

学び合う教職員の資質・能力向上

チーム学校づくりの推進